



# クオリティ・ SHIPPING と インセンティブスキームの 推進

国土交通省海事局  
安全基準課長  
松尾 龍介

# プレゼンの流れ

- クオリティーシッピングの概要
- 交通大臣会合
- インセンティブスキームの推進

# クオリティー SHIPPING の流れ

- (従来からの) 国・IMOによる海上安全・海洋環境への対応
  - 基準の策定
  - 基準の履行確保: FSI(旗国)とPSC(寄港国)
  - 安全管理の導入(ISMコード)
- サブスタ船の問題、大型海難事故、安全・環境意識の高まり
- クオリティー SHIPPING キャンペーン
  - 90年代後半から
  - 国と海運業界との協力、業界の自主努力の必要性

# クオリティー SHIPPING の概要

- クオリティー SHIPPING の核となる手法
  - 全ての海事関係者の責任・連携(chain of responsibility)
  - 船舶データの透明性(transparency)の確保
  - インセンティブの付与
- (広義の)クオリティー SHIPPING
  - サブスタ船を排除し、質の高い海運を目指す
  - 国及び民間による総合的な努力

# クォリティー SHIPPING と交通大臣会合を含む国の取り組みの関

## クォリティー SHIPPING の流れ



### 責任の輪(Chain of responsibility)

(海運業界と行政の協力)

⇒ 「質の向上に関する海事産業憲章」等

### 情報の透明性の確保

(Transparency)

⇒ EQUASIS (国際船舶データベース)

### インセンティブの付与

⇒ ・Qualship21  
・Green Award, etc.

### 目的

- ・サブスタンダード船の排除
- ・質の高い海運の促進

交通大臣会合

海上安全・海洋環境の向上  
健全な海運

## IMO・主管庁の対応

### 基準の作成

- ・安全、環境に関する条約の策定
- ・技術進歩に応じた改正
- ・品質管理の導入 (ISMコード)

### 基準の履行確保

#### 旗国:

- ・自己評価様式(SAF)
- ・旗国監査プログラムの創設
- ・船級の監督強化, etc

#### 寄港国:

- ・PSCの強化

# 交通大臣会合の概要

- 日時：2002年1月15日及び16日
- 参加国・機関：20カ国 + EC委員会及びIMO事務局
- 環境にやさしい交通の実現をメインテーマとして、3つの議題を設定。
  - 海洋汚染の防止
  - 都市における交通と環境
  - 環境にやさしい自動車の開発・普及
- ~ の議題毎に共同声明を採択するとともに、総括的共同宣言をとりまとめた。

# 大臣会合で合意されたアクションプラン(その1)

## 旗国の条約実施に対する IMO 監査プログラムの創設

主要な条約に関する旗国の実施状況に対し、監査チームが実際に旗国を訪れ、評価するというスキームを IMO に創設しようという構想。

## 質の高い船舶に対するインセンティブスキームの推進

海運事業者の自発的努力を引き出すには、インセンティブの付与が重要であり、これらスキームを推進していこうというもの。

## 船舶データベースの利用及び使用の推進

船舶に関するデータの透明性を向上させるため、既に EQAUSIS という世界規模のデータベースが稼働している。この EQUASIS を一層充実させ、利用の推進を図るとともに、その他のデータをも使用し、統計処理等を行うというもの。

# 大臣会合で合意されたアクションプラン(その2)

## ISM(国際安全管理)コードの実施

SOLAS 条約で強制化されている ISM コードは、2002 年 7 月から完全実施されるため、その確実な実施を図る。

## ポートステートコントロール(PSC)の運用方法の調和

PSC の実施について、国際的な調和を図るためのプログラムを実施しようというもの。

## 開発途上国に対する技術支援

開発途上国に対し、旗国としての条約実施及び寄港国としての PSC の実施に関して、技術支援を行うというもの。

## サブスタンダード船に対する監視システムの整備

沿岸国において、サブスタンダード船に対する監視システムを整備し、必要な措置を講じるというもの。

# クオリティ・シッピングを実現するための施策

## - 大臣会合アクションプランの実行 -

- IMOによる旗国の監査プログラムの創設
- 質の高い船舶に対する  
インセンティブスキームの推進
- 船舶に関するデータの透明性向上  
- EQUASISの利用促進 -
- 船舶の評価・格付け

# IMOによる旗国の監査プログラムの創設

- ICAO(国際民間航空機関)と同様のスキームを海事の世界にも導入しようというもので、当面は、ボランタリーベースを目指す
- 海上人命安全条約(SOLAS)、海洋汚染防止条約(MARPOL)、船員の訓練・資格証明・当直基準条約(STCW)の3条約
- IMO理事会で基本的合意が得られ、今後、詳細を検討

# IMOによる旗国の監査

IMO

旗国

スケジュール



監査チーム



監査結果の一部公表



監査結果の  
フィードバック

2002.1 「交通と環境」に関する  
大臣会合：「モデル監査スキーム」の  
創設合意

2002.6 IMOで監査導入の検討  
(原則合意され、今後、詳細を検討)

2004以降 「モデル監査スキーム」  
の 試行的実施(目標)



「IMO旗国監査プログラム」開始

# 質の高い船舶に対する インセンティブスキームの推進

- インセンティブスキームとは、実施主体が一定の基準(クライテリア)を定め、これに合致する船舶に何らかの報償(award)を付与するもの
  - ロッテルダム港を中心としたグリーンアワード(港湾料金の一定割合に対する報奨金など)
  - 米コーストガードによるQualship21(PSCの軽減)
- 我が国では、(財)運輸政策研究機構に委員会を設け、種々のスキームの調査及び今後の望ましいスキーム等について検討中

# 船舶に関するデータの透明性向上 - EQUASISの利用促進 -

## ● EQUASISの概要

- ウェブサイト ([www.equasis.org](http://www.equasis.org)) で無料公開
- 世界中の船舶約7万隻のデータ
- PSCのデータを中心に、船級、P&Iのメンバーシップなど

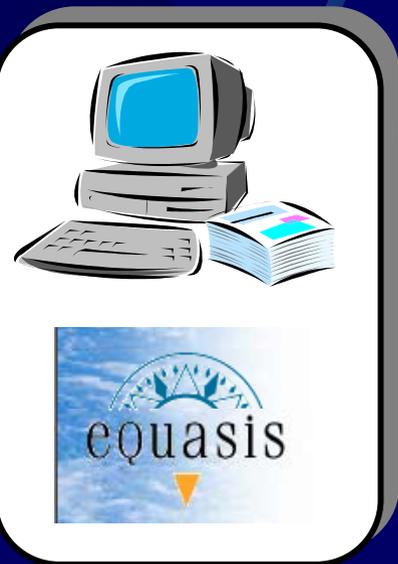
## ● 我が国を含む、EC、仏、英、スペイン、シンガポール、米の7カ国が運営

## ● 今後、データ内容の充実、利用の拡大が課題

# 船舶の評価・格付け

- EQUASISその他のデータを使用し、統計処理
- 船舶に関する、旗国、船級、船主、船種、PSC履歴、事故履歴等に関するプラス、マイナスの要素を勘案し、一定の明確な基準に基づき、評価・格付けを実施
- その結果をインセンティブスキームのクライテリアとしても利用できる

# 船舶の評価・格付け



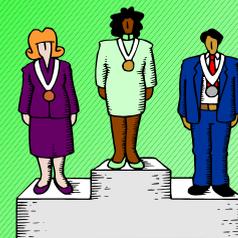
EQUASIS等の船舶  
データの利用



評価・格付け手法の検討



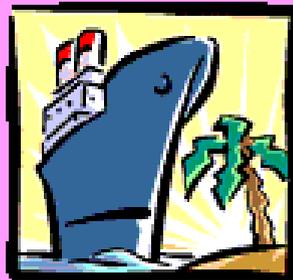
実際の評価



格付け



公表



安全で美しい海

# 船舶の評価・格付けシステムの構築

## 評価・格付けモデルの構築

- ・企業に対する一般的な格付け手法、タンカー、バルカー等に対する格付け等を調査
- ・船舶を評価するのに必要なデータ（要素）及び入手方法の検討
- ・上記、船舶に関する各の要素をポイント制などにより数値化するとともに、各要素の重み付け（係数）を行い、それらの加重平均などによるモデルを構築する。

## 上記モデルに基づくソフトウェアの開発

評価・格付けの試行  
（モデルの再検討）

（将来）評価・格付け結果の公表

## 評価・格付けで考慮される要素 （例えば）

- ・船主、旗国、管理会社、用船者
- ・船種、船齢、シングル/ダブルハル
- ・船員、保険会社、..
- ・PSC、事故履歴
- ・業界等による自主検査、船級の付号
- ・グリーンワード、Qualship21 など

各要素の数値化（5段階など）  
及び重み付け（係数化）

各要素の加重平均（計算）

評価・格付け

# 今後の政策のあり方

- クオリティー SHIPPING を通して、海上安全と海洋環境のレベルの向上を図るには、
- 国による基準の強制に加え、
- 海運業界による自主的な努力が不可欠であり、そのような方向を促進するようなソフトで誘導的な政策が必要
- そのためのインセンティブスキームの推進が国としても重要と認識

# インセンティブスキームを推進する 具体的方策(その1)

- データを利用した船舶の評価・格付け
  - 海事局では、本年度事業として、評価・格付けモデルの構築を行っており、できれば試行を行い、その成果を海運界にフィードバックできればと考えている。
- IMOにおける環境インデックス(指標)の利用
  - CO2などの温暖化ガスの削減方策として、環境インデックスの利用を検討しており、これは、IMOが得意とする条約等の強制的な手段ではなく、インセンティブ手法を用いるパイロットモデルとなる可能性。

# インセンティブスキームを推進する 具体的方策(その2)

- グリーンアワード型の港湾施設における種々の利用料の割引
- USCGのQualship21のような効率的P S Cの実施
- 以上のような国際的には既に確立しているインセンティブスキームを、我が国でも実施することを検討中